

トリガータイプでは
世界初

有機溶剤系が噴霧できる。

ニューモデル

ダイヤスプレー

国際特許出願済

18cmノズル付き

商品名

Excellent
エクセレント

型式名

No.3550

容量 500 mL

No.3558

容量 1000 mL

取扱説明書

- ・ご使用前に必ずこの説明書を読んで正しくご使用ください。
- ・必要なときに読めるよう、大切に保管してください。

安全上の注意



注意

有機溶剤、防錆剤、有機溶剤系クリーナーのほとんどが引火による火災や、吸入による中毒などの危険性がありますので、必ず使用する液の取扱説明書・注意事項をよく読み、適した安全対策を実施のうえご使用ください。

- 使用する液によっては消防法や労働安全衛生法等により規制されるものがあります。その際は法令に従ってお取り扱いください。

有機溶剤系液体の使用上の注意

- 本製品は有機溶剤を運搬するための製品ではありません。本製品に有機溶剤を入れて運搬することは消防法に抵触します。(消防法 第16条)
- 密閉された室内での使用は避け、換気や排気を十分におこなってください。
- 火気のある場所や高温熱源等の付近では絶対に使用や、保管はしないでください。
- 静電気が点火源となり、火災の起こる事がありますので十分にご注意ください。
- 高温の金属等への噴霧はしないでください。
- 噴霧の際は防毒マスク、保護眼鏡、保護手袋等を着用して、霧を吸入したり、皮膚に触れないようにしてください。
- 使用中に気分が悪くなった時は、直ちに中止し必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 液の移し替えの際は、こぼさないように注意してください。
- 使用後は液を元の容器に移し、冷暗所で換気の良い一定の場所を定めて保管してください。

※ 上記は多くの防錆剤や溶剤系クリーナーに記載されている一般的な注意事項ですので万全ではありません。必ず使用する液の取扱説明書・注意事項に従い、ご使用ください。

スプレーの使用上の注意

- 絶対に人や火に向けて噴霧しないでください。
- 本器が破損し液が飛散するので、落したり強い衝撃を与えないでください。
- 本体をボトルに取り付ける際は、必要以上に強く締め付けしないでください。
- 異なる液は兼用しないで、それぞれ個別にスプレーをご用意してください。液によっては化学反応により熱や有害ガスが発生する場合があります。
- 異物の混入した汚れた液は使用しないでください。微細な鉄粉・砂等が混入している場合、噴霧不良や本器内部の部品が傷ついて液漏れするおそれがあります。(液の使い回しはしないでください)
- 使用後はボトル内の液を抜き取り、子供の手の届かない所に保管してください。
- スプレー本体には通気孔があるため、スプレーを横にすると液が若干にじみ出てきますので注意してご使用ください。



防錆剤の着火テスト 危険性確認のテストです。絶対にマネしないでください。液状(原液)では引火しにくい液でも霧状になると引火しやすく写真のように瞬時に着火し非常に危険です。室内で噴霧作業をする場合はよりいっそう火気に注意して十分に換気をおこなってください。

注意 は指示に従わなかった場合に負傷または物的損害を生じるおそれのあるものを示しています。※本書の内容、及び本器の仕様は、予告なく変更することがあります。

製品の特長

※
従来、トリガータイプスプレーで有機溶剤を使用するとピストン部・シリンダー部・ノズル弁部等が膨潤して噴霧不能になり、実用に耐えるスプレーを商品化することは困難とされていました。
弊社の長年にわたる研究・開発の結果、**2001年10月に世界で初めて有機溶剤が噴霧できるプラスチック製トリガータイプスプレー**を発売しました。
以来、ユーザー様よりご好評を頂き順調に実績を推移してまいりました。
この度のニューモデルはスプレー本体のデザインを一新し、使いやすく品質も向上しました。

(ぼうじゅん)
※ 膨潤とは? : 高分子物質(プラスチック、ゴムパッキング等)が溶剤を吸収し、体積が膨張すること。
溶剤の種類によって膨潤率が高いものや低いものがあり、一定ではありません。

有機溶剤系液体の噴霧に

「有機溶剤を噴霧したい」という多くの要望にお応えして開発したスプレーです。
有機溶剤、エアゾールタイプの防錆剤や有機溶剤系クリーナーの原液(噴射ガスが入っていないもの)、しみ抜き剤など様々なニーズがあり、業務用として最適です。

コストダウンができて、しかも環境にやさしい

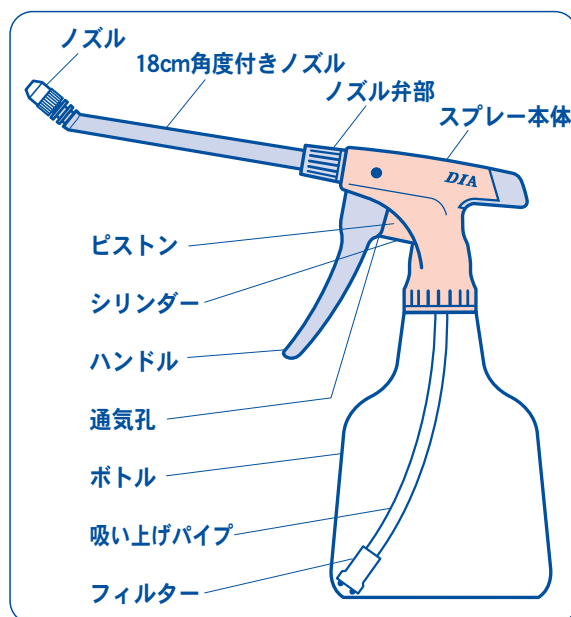
エアゾールタイプのスプレーを大量に使用している場合は、原液を本製品で噴霧するとコストダウンが望めます。
噴射ガスを使用しないため環境にやさしく、空缶の廃棄処理の手間やコストが削減できます。
※ エアゾールタイプと、本製品のようなトリガータイプでは、霧の質が異なります。

内容液を識別するシール付き

使用する液名を記入して他のスプレーとの誤使用を防ぐ「液名シール」は、透明保護フィルム付きなので溶剤等がかかっても記入した文字が消えません。また、火気注意を促す「可燃性・火気注意シール」も同梱しましたので、それぞれスプレーに貼ってご活用ください。

各部の構造と特長

- **18cm角度付きノズル**
先端に30度の角度が付いているのでノズルパイプを回すとノズルの方向が変えられます。
また、パイプ内部の空気溜まりを減らすスパーサーにより、効率良くすぐに良い霧が出ます。
- **ピストン**
溶剤による膨潤や収縮に耐える材質と構造です。
- **シリンダー**
溶剤に強く変形しないシリンダーをスプレー本体部にインサートしてあります。
- **ノズル**
溶剤による噴口の変形や膨潤に耐える金属製。
噴霧から直射まで霧の角度が調節できます。
- **ノズル弁部**
スプリング付きノズル弁で気密性が高く、霧の切れが良い。
- **通気孔**
ボトルの変形を防ぐため、噴霧時に空気を取り入れる穴。
(シリンダー内部にあります)
- **ハンドル**
指がよくかかる長さで、らくに噴霧できます。
- **フィルター**
ボトルにゴミが混入しても吸い上げません。
- **その他の部品の材質について**
上記以外にもすべてのプラスチック部品は耐溶剤性に特に優れたグレードの材料を使用しています。



※ 上記のイラストはNo.3550 (500mL) です。

製品の主要材質

特殊配合ポリプロピレン、特殊配合ポリエチレン、ステンレス、真鍮

使用液について

使用できる主な液

有機溶剤 ----- シンナー、アセトン、トルエン、ヘキサン、キシレン、アルコール(エタノール)、トリクロロエチレン、ベンゼン、ベンジン、ガソリン、灯油、テレピン油、メチルエチルケトン(別名:ブタノン)、リグロイン、エチルベンゼン、メシチレン、パークロロエチレン(別名:パークロルエチレン、パークレン、テトラクロロエチレン、四塩化エチレン)

有機溶剤系 ---- パーツクリーナー、探傷剤用洗浄液、防錆剤、しみ抜き剤(油性)等

※ 水より粘度が高い液は、正常な霧になりませんのでご了承ください。

※ 有機溶剤・有機溶剤系液体には単剤のものから混合溶剤及び溶剤以外の物質を溶かした溶液など多くの種類があります。

本製品は多くの有機溶剤系液体を使用できる材質と設計になっていますが、下記の **使用できない主な液** が混合された液は使用しないでください。

使用できない主な液

無機薬液 ----- 塩酸、硫酸、硝酸、リン酸水溶液、オキシドール、アルカリ性の液(アンモニア水など)等

塗料 ----- 塗料全般

その他 ----- 酸性及び塩素系の家庭用クリーナー、腐食性の液等

スプレーの取扱い手順

1) はじめに、箱の中に下図のものがすべてそろっていることをご確認ください。



※ イラストはNo.3550 (500mL)です。

18cm角度付きノズル

予備パッキング
(大,小 各2個)

液名シール

可燃性・火気注意
シール

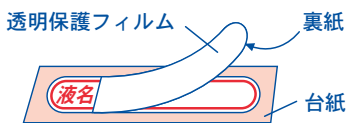
※ 液名シールの使用方法は、下記の3)をお読みください。

取扱説明書



2) 18cm角度付きノズルをスプレー本体に取り付けてください。

3) 使用する液名がわかるように、「液名シール」を下記の順序で記入して、スプレーに貼ってください。



① シールの赤い枠の中に、使用する液名を油性マジックで記入してください。

② 透明保護フィルムの裏紙(白色)をはがし、シールからずれないようにしながら左側からゆっくりと貼ります。

③ 台紙からはがしてスプレー本体の上面やボトルに貼ります。

可燃性の液を使用する場合は「可燃性・火気注意シール」もスプレーに貼ってください。

4) 使用開始時に、速いハンドル操作をおこなうと効率良く液が吸い上がり噴霧します。

また、ノズルを上に向けて空吹きをするとノズルパイプ内の空気が抜けて、良い霧が出ます。

※ 製造時に行う噴霧テストの水分がスプレー本体内に残っている場合があります。

水の混入で不具合が生じる場合、使用する液を少量ボトルに入れて、数回噴霧して水分を抜いてからご使用ください。

5) 18cm角度付きノズルの方向をお好みの位置にします。(先端のノズルは30度の角度がついています)

※ ノズルパイプを回すことで360度方向が変えられますが、必要以上にゆるめないでください。

6) 霧の角度が調節できます。

ノズルを締めると噴霧、ゆるめると直射になります。

※ 使用する液によっては長時間使用しますと、ムシの形状変化により霧の角度が若干狭くなってくる場合がありますので、その際はノズルを少し増し締めしてください。

7) 吸い上げパイプは使用する液によって膨潤して下方に伸びる場合がありますので、吸い上げパイプを2ページのイラストのように前方に曲げてクセをつけてからご使用ください。

使用上の注意

- 溶剤によっては膨潤の度合いが異なり また、ピストンやパッキング等は乾燥して収縮したり変形するものも多く、溶剤の種類や使用頻度によって耐久性に差がでますのでご了承ください。
- しばらく使用を中断しているとスプレー本体内に充満した液がボトル内に戻り ピストンが乾燥収縮し、液が若干漏れる場合がありますので その際は下記の**故障かな?と思ったときは**の⑤をご参照ください。
- ノズルやノズルパイプの回転がきつなくても正常に機能している場合はノズルを外さないでください。再組み込みする場合は下記の**故障かな?と思ったときは**の③をご参照ください。
- 使用する液によって、乾燥固化してノズルの穴が詰まり 噴霧できなくなる場合がありますので、下記の**故障かな?と思ったときは**の②をご参照ください。
- 使用する液によって、ハンドルを操作すると異音(ギシギシ等)がする場合がありますが性能には支障ありません。
- 使用後は液を抜き取り、この取扱説明書と一緒に包装ケースに入れて保管してください。

故障かな?と思ったときは

現象	原因	処置方法
① 霧が曲がっている。	ノズルのゴミ詰まり (液の乾燥固化)	ノズルを外して溶剤で洗浄するか、内側からノズルの穴やムシの溝についたゴミを「つまようじ」のようなやわらかい物で傷をつけない様に取り除いてください。
② 霧が出ない。	フィルターのゴミ詰まり	スプレー本体を外し、フィルターについたゴミを取り除いてください。
	ボール弁のはりつき	スプレー本体を外し、逆さにして数回叩いてください。密着したボール弁が外れて動く様になります。 (スプレー本体を振るとカタカタと音がします)
③ ノズルやノズルパイプの回転がきつい。	油汚れ	パッキングに注油してください。(図1)ご参照 尚、ノズルの回転がきつなくても正常に機能している場合はノズルを外さないでください。 ノズルを外した際に膨潤して大きくなっているパッキングがミゾからはみ出てしまい再組み込みが困難になる場合があります。そのような時は同梱の予備パッキングを組込み、注油してご使用ください。 ※ 予備パッキングの追加注文は、部品セット 91328 ノズルパッキングセット とご用命ください。
④ ハンドルの動きが悪い。	油汚れ	ピストン部に注油してください。(図2)ご参照 ※ 注油する油が使用する液に影響する場合は、注油しないでください。
⑤ ピストン部から漏れる。	乾燥によるピストンの縮み	使用開始直後に漏れた際は、保管中にピストンが乾燥して縮んでいる場合があります。 そのまま使用を中止して10分ほど放置してください。 ピストンが膨潤して、液漏れが止まる場合があります。液漏れが止まらない場合はお取り替え時期ですので再度お買い求めください。

